【第４次　１４時間目／全１４時間】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　　石塚　智久

（１）本時のねらい

　亀田郷の将来について，亀田郷の発展に尽くした佐野藤三郎の願いを考え，これまで学習した佐野藤三郎の功績をふまえて将来の亀田郷に対する思いを抱き，考えをまとめて表現することができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　佐野藤三郎の願いと，目指したまちづくりを確かめる。  （１０分） | Ｔ１　佐野さんの出身地，東区木戸にある諏訪神社の境内に，佐野さんの亀田郷への思いを記した石碑があります。佐野さんはどのようなことを願っていたのでしょう。  Ｃ１　「ふるさとを愛する心」とある。佐野さんは亀田郷のことを愛して，とても大切に思っていた。  Ｃ２　亀田郷の発展のために，佐野さんはとても苦労した。その苦労が食の新潟国際賞や国際交流につながった。  Ｃ３　佐野さんの頑張りの「結晶」が今の亀田郷の姿だ。その姿がずっと続くことを願っている。  Ｔ２　これまで学習してきた佐野藤三郎さんの功績を確かめてみましょう。  　①あし沼だった亀田郷をかわいた土地に生まれ変わらせた。  ②亀田郷の経験を生かして中国への国際協力をすすめた。  　③農家もそうでない人も住みやすい亀田郷のまちづくりを考えた。  　これらのことすべてが，佐野さんの残した「結晶」ですね。 | 〇資料「佐野藤三郎の言葉」を提示。佐野の思いを読み取らせる。  ○これまで学習した佐野藤三郎の功績を短冊で提示し全体で確かめる。  ○資料「佐野藤三郎年表」で確かめる。 |
| ２　自分たちがくらすまちとして，これからの亀田郷の姿を考える。  （３０分） | Ｔ３　私たちがこれからも佐野さんの残した「結晶」を大切にしていくために，これからの亀田郷はどのようなまちづくりを目指したらよいでしょう。   |  | | --- | | これからの亀田郷は，どのようなまちづくりを目ざしていけばよいのでしょうか。 |   Ｃ４　排水機場を作ったり洪水を防ぐ工夫をしたりして，これからも水害のない安全なまちを目指したい。  Ｃ５　おいしい米がとれる新潟として，今よりもっと農業が盛んな亀田郷を目指したい。  Ｃ６　農業だけでなく，まちのくらしにも便利な，住みやすい亀田郷を目指したい。  Ｃ７　中国だけではなく，いろいろな国に農業の技術を教えて交流したい。 | ○学習課題を提示する。  ○個人の考えをノートに書いた後，グループで話し合い，考えを一つに絞る。  ○めざすまちづくりのためにどのようなことができるか，具体的な手立ても一つ考える。 |
| ３　単元全体を通しての振り返りをする。　　（５分） | Ｔ４　亀田郷の学習全体を振り返って，特に印象に残った学習や考えたことなどをノートにまとめましょう。 | ○本時のまとめは一人一人が考えた亀田郷の未来像であると伝える。 |

［別案］ゲストティーチャーを招いての意見交換や，自分たちの提案を土地改良区へ届けるなどの活動も考えられる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （例）  ３　地域でまちづくりに関わる方を招き，子どもたちが考えたまちづくりの方向を伝える。 | Ｔ４　みなさんが考えた「まちづくり」のアイディアを，地域の方に聞いてもらいましょう。  ［グループごとに発表］  Ｔ５　みなさんの考えを聞いて，地域の方から感想を聞かせていただきましょう。  ［ゲストティーチャーからのお話］  Ｔ６　亀田郷の学習全体を振り返って，特に印象に残った学習や考えたことなどをノートにまとめましょう。 | ○土地改良区など，まちづくりで活躍されている方を招く。  ○まちづくりを進める上で大切にしていることを話してもらう。  ○亀田郷再生構想や田園型政令都市の方向性を踏まえて話してもらう。 |